

## PCR検査のさらなる拡充を求める意見書（案）

新型コロナウイルスの感染が全国で急速に拡大している。新型コロナウイルス感染症は発症直前にウイルス排出がもっとも多く、しかも無症状者からの感染が全体の40%にのぼることが明らかになっている。これ以上の感染拡大を広げないためには、感染震源地を明らかにし、その地域住民全員の検査を行うこと、医療関係者をはじめ福祉職場、学校現場、エッセンシャルワーカー等の検査を一気にすすめることが求められる。

アメリカのニューヨーク州では、「いつでも、誰でも、何度でも」検査を受けられる体制が構築されている。わが国でも検査能力の拡大が進められているが、感染拡大地域の全住民や従業者をはじめ必要のある方がすみやかに検査を受けられる体制を整備することこそ、無症状感染者からの感染を含む感染拡大を抑えるためには最も効果的である。

また、地方自治体等を通じた、検査を実施する際の職員配置、検査キットなど備品購入費用の財政支援がなければ、一般医療機関での検査能力拡大にはつながらない。

よって政府及び国会は、PCR検査能力をさらに大幅に広げるよう取り組むとともに、そのための地方自治体への財政支援を拡充することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

内閣総理大臣	殿
新型コロナウイルス感染症対策担当大臣	殿
厚生労働大臣	殿
衆議院議長	殿
参議院議長	殿